



『三谷幸喜のありふれた生活15  
おいしい時間』 三谷 幸喜 著

超多忙な人気脚本家である著者の至福のひと時、父子でウルトラマンを觀賞し、コロッケそばで満たされ、息子の弁当作りに熱中。五十代半ばを過ぎて、すぐ安定志向に向かいがち、チャレンジを忘れないために新作舞台に俳優復帰、苦手なトークショーも解禁！今なお進化を続ける脚本家のエッセー集です。



『夜の側<sup>かわ</sup>に立つ』 小野寺 史宜 著

高校三年生の時に組んだバンドメンバーで親友の壮介<sup>そうすけ</sup>が夜の湖で死んでしまった。喜びも後悔も欲望も嘘も、全てがこの事故をきっかけに甦る。十代、二十代、三十代、四十代、四つの時間軸<sup>のもとりょうじ</sup>を行き来して描かれる主人公・野本了治が22年かけて出した答えとは。



『ブロードキャスト』 湊 かなえ 著

町田圭祐<sup>まちだけいすけ</sup>は中学時代、陸上部に所属し、駅伝で全国大会を目指していたが、3年生の最後の県大会、わずかの差で出場を逃してしまう。その後、陸上の強豪校に入学したが、ある理由から陸上部に入ることを諦め、なんとなく放送部<sup>けいすけ</sup>に入部することに…圭祐は新しい「夢」を見つけることができるのか。



『すぐ死ぬんだから』 内館 牧子 著

78歳<sup>おし</sup>の忍ハナは、全く見た目に気を使っていなかったが、ある日、年齢より上に見られて「人は中身よりまず外見を磨かねば」と目が覚める。夫と経営してきた酒屋は息子夫婦に譲っていて、不満である息子の嫁の貧相さを除けば幸せな老後だった。しかし夫が倒れ、思いがけないことを知ることになる。



『翼竜館<sup>よくりゅうかん</sup>の宝石商人』 高野 史緒 著

1662年晩夏のアムステルダム。宝石商ホーヘフェーンがペストにより亡くなった。しかし、遺体が埋葬された翌日にその館の鉄格子のはまった部屋で意識を失った男が発見される。その男はホーヘフェーンそっくりだった！画家レンブラントの息子ティトゥスと記憶を失った男ナンドはひょんなことから事態に巻き込まれ、謎の解明に乗り出す。



『やまと尼寺精進日記』 NHK「やまと尼寺精進日記」制作班 著

奈良の奥深い山中に佇む、音羽山観音寺に住む三人の女性が繰り広げる極上のスローライフ。季節の食材をふんだんに使った彩り豊かな料理の数々や、季節の到来を知らせる自然の色彩。忙しい現代の流れにさからい、ゆったりと日々を生活する、本当のゆたかさを紹介します。



『刀の明治維新  
「帯刀」は武士の特権か？』 尾脇 秀和 著

「帯刀」=武士の特権という今日の常識は正しいのか。江戸～明治初年、誰が何のために帯刀し、人々のまなざしはどう変わっていったのか。ファッション・身分標識・旧弊のシンボルへと移り変わる姿と維新で消えゆくまでを追い、「帯刀」の本当の意味を探る。



『も〜っとずぼらヨガ  
自律神経どこでもリセット！』 崎田 ミナ 著

いつでも・どこでも・誰でもできるヨガがパワーアップしました！ヨガ通いによって心身の健康を徐々に取り戻していった漫画家が、ずぼらでも運動ギライでも三日ボウズでも座ったままなどで楽に続けられるヨガ・ストレッチを、わかりやすい漫画で紹介！



『りんあん小学生コーデ』 matsuko 著

毎朝の子どもの服選びでもう迷わない！インスタグラムフォロワー50万人超えの著者である双子のりんか・あんなのママが、ユニクロ、H&M、GUの定番アイテムでもおしゃれでかわいく、人とかぶらない春夏秋冬31日のコーデや「賢い選び方、合わせ方」のルール、さらにはコーデがキマるかわいい小物を紹介します！



『阿佐ヶ谷姉妹ののほほんふたり暮らし』 阿佐ヶ谷姉妹 著

歌って踊れて昭和感ただよ芸で人気上昇中の女芸人・阿佐ヶ谷姉妹の2人が、いざこざもあるけどおおむね楽しく自由にのんびりと日々を過ごす同居生活を綴る。幅広い女性に人気を博したエッセイに恋愛小説2編を加えて書籍化しました。